

報 道 各 位

一般社団法人日本船用工業会

### 令和 3 年度「若手・新入社員教育研修」を実施

当工業会は、人材養成対策事業の一環として、5 回目となる「若手・新入社員教育研修」を、5 月 10 日（火）～12 日（木）に会員企業 22 社 33 名の参加を得て実施した。本研修は、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、令和 3 年度は当初本年 2 月に開催を予定していたものの新型コロナウイルス感染症の影響で延期し、今般の開催に至った。

本研修は、今後の船用工業を支える若手・新入社員が、①社会人としての考え方やマナー等を身に付け、②船用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会を提供することを目的としている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年新たに開業し 24 時間連続換気システムなどの感染症対策を前提に運営されている「L stay&grow 南砂町」に実施場所を変更するとともに、事務局を含む参加者全員に PCR 検査陰性証明の提出を求めた上で、2 泊 3 日の日程で合宿形式にて実施した。

研修では、当工業会の人材養成検討委員会アドバイザーの矢吹捷一氏（元三井造船株 常務取締役 船舶・艦艇事業本部長）及び藤本幸延氏（当工業会 顧問／富士貿易株 顧問）並びに安藤昇専務理事、中橋亨業務部長による講義、研修生による自己紹介及び自社の紹介、ビジネスマナー講座、グループワーク、交流会等を行ったほか、海上技術安全研究所の協力を得て同所の「400m 試験水槽」、「変動風水洞」、「海洋構造物試験水槽」、「自動運航・遠隔操船」を見学した。

多くの研修参加者は、この 2 年間のコロナ禍の中で外部と接する機会がほとんどなく、当初は緊張した面持ちであったものの、3 日間の研修を通じて交流を深め、最終日のグループワークでは活発に意見交換が行われていた。講義や施設見学等、随所で積極的に質問する研修生の姿も見られるなど、本研修は成功裏に終了した。

### 記

1. 実施期間：令和 4 年 5 月 10 日（火）～12 日（木）
2. 研修場所：L stay&grow 南砂町
3. 施設見学：海上技術安全研究所（国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 東京都三鷹市）
4. 参加者：22 社 33 名  
株赤阪鐵工所、イーグル工業株、神奈川機器工業株、かもめプロペラ株、株國森、株神戸機材、株COAST、島田燈器工業株、ターボシステムズユナイテッド株、ダイハツディーゼル株、大洋電機株、高階救命器具株、株帝国機械製作所、寺崎電氣産業株、東京計器株、ナカシマプロペラ株、BEMAC株、富士貿易株、三菱化工機株、ヤンマーパワーテクノロジー株、株横浜通商

5. プログラム：

研修科目	講師
船用工業と若手人材への期待	人材養成検討委員会アドバイザー 矢吹 捷一
船用工業におけるグローバル展開の最前線	人材養成検討委員会アドバイザー 藤本 幸延
世界の海上物流を支え成長を続ける船用工業	(一社) 日本船用工業会
船用工業における安全環境対策の重要性	(一社) 日本船用工業会
ビジネスマナー講座	(株)インソース
自己紹介及び自社の紹介	—
グループワーク	—
施設見学 (国立研究開発法人 海上技術安全研究所)	—
オリエンテーション、交流会、修了式等	—

(事務局問合せ先)

業務部 山内 TEL: 03-3502-2041 E-mail: yamauchi@jsmea.or.jp



矢吹アドバイザーによる講演の様子



藤本アドバイザーによる講演の様子



安藤専務理事による講演の様子



中橋業務部長による講演の様子



研修生による自己紹介及び自社の紹介の様子



交流会の様子



ビジネスマナー講座の様子



ビジネスマナー講座の様子



海上技術安全研究所見学の様子



海上技術安全研究所見学の様子



グループワークの様子



グループワークの様子



修了式の様子



修了式の様子

以 上